

関西圏地盤情報データベース研究利用報告書

研究課題	地域防災のための地盤性状とハザードマップの対応の研究		
研究者	(所属と氏名) 帝塚山大学 間瀬辰也		
研究期間	2022 年 4 月 ~ 2022 年 3 月	報告日	2022 年 4 月 8 日
<p>関西圏の地盤について、微地形区分、土地利用区分、ハザードマップ等の対応を比較検討し、それらの関係を明らかにする。その時に、関西圏地盤情報データベースでのデータを参考に実施した。研究方法は、GIS データを用いて地盤条件のデータを重ね合わせることで地域防災マップを作成した。GIS は、オープンソースの QGIS を使用した。</p> <p>卒業研究テーマ一覧を下記にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守口市の避難場所と想定災害についての研究 ・和歌山市における想定災害と避難所の安全性に関する研究 ・東大阪市の想定災害と避難所の安全性に関する研究 ・尼崎市における地盤条件と想定災害に関する研究 <p>2021 度は、詳細なボーリングデータに基づく土柱モデル(一次元解析)による地盤応答解析(等価線形解析や液状化解析)を実施することができなかった。2022 年度は、関西圏地盤情報データベースの土質柱状図に基づき地盤応答解析を実施し、内閣府実施の南海トラフ地震シミュレーション結果の PL 値との対応を確認する計画である。</p>			
公開資料(論文等): なし。			

※貸出期間終了後、研究利用報告書(本様式)と研究成果(論文等)を提出してください。
 ※研究利用報告書は、KG-NET の HP で公開します。